

## 岡山甘栗の作業防除暦

月	旬	生育ステージ	重点作業	病 害 虫 防 除		備 考
				対象病害虫	散布薬剤と濃度	
1	上 中 下		整枝・せん定			光環境や通風の改善、病害虫発生抑制、樹勢維持に努める。
2	上 中 下		整枝・せん定	カイガラムシ類	機械油乳剤95 14倍	カイガラムシによる枯損木は園外へ持ち出す。 クスサン、クリオオアブラムシの卵塊を発見した場合、ワイヤーブラシ等ですり潰す。
3	上 中 下		苗植え付け			接ぎ木用の穂木採取は今月上旬まで。 整枝・せん定作業は3月中旬まで。 苗の植え付け作業は3月中に完了する。
4	上 中 下	発芽期 展葉期	接ぎ木	食葉性害虫	アディオン（乳）2000倍	5月中旬まで凍害被害に気をつけましょう。 5月中旬まで新芽食害防止対策で予防しましょう。
5	上 中 下		草刈り①			接ぎ木作業の最終は5月上旬まで。 幹周囲は、コウモリガ等の加害を防ぐため、常に下草に覆われないように気をつけましょう。
6	上 中 下	開花期	草刈り②	カミキリ類	トラサイドA（乳）100倍	トラサイドA（乳）は樹幹部に十分散布する。
7	上 中 下			実炭疽病	ベルコート（F）1000倍	
8	上 中 下			モモノゴマダラノメイガ クリイガアブラムシ クリシギゾウムシ クリタマバチ 実炭疽病	エルサン（乳）1000倍 アディオン（乳）2000倍 * ベンレート（水）2000倍	モモノゴマダラノメイガ等の防除はきゅう果に確実にかかるように散布する。 クリタマバチのゴールが多く着生している園では防除を行う。
9	上 中 下	果実成熟期 （岡山1号）	草刈り③			収穫に支障がないよう、草刈りを励行する。
10	上 中 下	果実成熟期 （岡山3号） 根の動き止まる	収穫開始（～10月末） 礼肥施用（～中旬）	クリシギゾウムシ（温湯処理）		収穫器具等を使い、収穫作業の軽減を図る。 礼肥の施用は、場合によっては収穫前（9月末以降）から行ってもかまわない。 台木用の播種は今月からとり播きでもよい。
11	上 中 下	落葉期	イガ処理			イガには害虫が残っている場合があるので、収穫後、速やかに園外に持ち出す。
12	上 中 下	休眠期	基肥施用（12～3月） 苗植え付け（12～3月） 凍害対策			寒冷地では今月中に基肥を！ 苗植え付け準備（盛土、施肥）は植え付け3か月前から計画的に！ 排水対策（盛土、溝切り等）を行い、凍害対策をしっかりと！

農薬名の略号

(水)：水和剤 (乳)：乳剤 (液)：液剤 (F)：フロアブル剤